

## 第Ⅷ章 1. 運用指図者に関わる事務の概要

資格喪失年齢に到達あるいは60歳以降、資格喪失年齢未満で退職した加入者は「企業型年金加入者」から「企業型年金運用指図者」へと立場が変わります。

運用指図者になった後の事務手続きについては、原則として加入者と同様、事業主が主体となって事務を進めることになります。

しかし、運用指図者の事務手続きは郵送による書類の受渡し等も多くなり、加入者の事務手続き以上に事業主の負担が大きいというのが実情のようです。そこで弊社では、事業主の事務負荷軽減を図るため、運用指図者本人の申し出により発生する主な手続きについて、「三井住友信託確定拠出年金コールサービス」が事業主に代わって直接運用指図者の窓口となる「運用指図者サービス」を行っています。（運用指図者サービスを利用せずに、事業主が窓口となって手続きを行うことも可能です。）

ここでは、運用指図者に関わる主な事務手続きについて、事業主が主体となり手続きする場合と運用指図者サービスを利用する場合に分けてその概要を説明します。

### (1) 運用指図者に関わる主な手続き

|              | 事業主が主体となり手続きする場合                                                                                                                                                                                                                    | 運用指図者サービスを利用する場合                                                                                                                                            |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①属性変更        | 加入者の場合と同様です。（詳細は「第Ⅳ章 3-1. 加入者属性変更」を参照してください。）<br>※帳票で手続きをする場合、使用帳票は「運用指図者諸変更届（ID 20042）」になります。詳細は「第Ⅷ章 2. 運用指図者の属性変更」で後述します。<br><b>※各種郵送物が登録の住所宛に直接送付されますので、住所変更があるときは速やかに手続きを行ってください。また、弊社より直接本人へ連絡することもありますので、電話番号は必ず登録してください。</b> | 手続きを行うときは、運用指図者本人より直接「三井住友信託確定拠出年金コールサービス」へ連絡します。詳細は「第Ⅷ章 3. 運用指図者サービス」で後述します。<br><br>※氏名・住所等の変更は本人がNRKのWeb画面で手続きすることも可能です。（詳細は「第Ⅶ章 1. 未移換者の属性変更」を参照してください。） |
| ②ユーザーID再発行   | 加入者の場合と同様です。（詳細は「第Ⅳ章 3-2. 加入者等ユーザーID再発行」を参照してください。）                                                                                                                                                                                 | ※ユーザーIDの再発行は、本人より直接「三井住友信託確定拠出年金コールサービス」へ連絡することにより、帳票の提出を行わず、電話のみで手続きが完了する場合があります。                                                                          |
| ③裁定請求（老齢・障害） | 「第Ⅸ章 2. 老齢給付金の裁定請求」<br>「第Ⅸ章 3. 障害給付金の裁定請求」<br>で後述します。                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                             |
| ④死亡／裁定請求     | 「第Ⅷ章 4. 運用指図者死亡」「第Ⅸ章 4. 死亡一時金の裁定請求」で後述します。                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                             |

|         |                        |  |
|---------|------------------------|--|
| ⑤年金計画変更 | 「第Ⅸ章 6. 年金計画変更」で後述します。 |  |
|---------|------------------------|--|

**注意**

事業主が主体となり手続きする場合も、運用指図者サービスを利用する場合も、以下の事項については、事業主に対応を依頼することがありますので、予めご了承ください。

- ① 運用指図者が居所不明となった際の住所調査協力
- ② 郵便物が不着となった場合の対応
- ③ 死亡一時金未請求の場合の遺族への連絡
- ④ 70歳到達時までに老齢給付金未請求の場合の本人への連絡 等

 **ポイント**

- ・ 事業主の事務負担軽減を図るためにも、「運用指図者サービス」をぜひ活用してください。
- ・ 運用指図者サービスを利用するにあたっては、運用指図者本人へ説明や書類交付が必要になります。「第Ⅷ章 3. 運用指図者サービス」を必ず確認してください。